

平成30年8月30日

伯耆町議会議長 篠原天 様

町民と語る会 司会 渡部勇

記録 森下 克彦
長谷川 満

伯耆町議会報告及び意見交換会実施要綱第9条第1項の規定に基づき、下記のとおり概要を報告します。

記

町民と語る会 概要

日 時	平成30年8月10日（金）19時～20時10分
場 所	伯耆町岸本公民館 大会議室
出席議員	篠原天議長、幸本元副議長、細田栄議会運営委員長、勝部俊徳予算決算等常任委員長、大森英一総務経済常任委員長、乾裕教育民生常任委員長、一橋信介議会広報常任委員長、渡部勇議会改革調査特別委員長、幅田千富美議員、杉原良仁議員、永井欣也議員、杉本大介議員、森下克彦議員、長谷川満議員
欠席議員	なし
参加者数	2名（男性2名・女性0名）
テ ー マ	(1) 伯耆町議会基本条例及び伯耆町議会議員政治倫理条例 (2) 議会に対する意見、質疑

発 言 者	進行概要並びに主な発言及び回答の概要
渡部委員長	開会挨拶
篠原議長 (主催者挨拶)	参加のお礼。 町民と語る会は本町議会で初めての取り組みであり、試行錯誤の部分もあるが、できる限り議会の中身、議員の仕事が町民の方に分かり易く理解してもらえよう、町民と議会の距離を縮め身近に感じていただきたく取り組みの一環として実施することとなった。 6月定例会で成立した議会基本条例、議会議員政治倫理条例について、概要説明をしたのち、議会に対する要望、意見を伺いたい。説明が不要な部分があればその時言っていただければカスタマイズして進行していきたい。よろしくお願いします。 (参加議員自己紹介)

渡部委員長 (進行説明)	<p>町民と語る会の開催趣旨は、伯耆町議会基本条例第4条第5項の規定に基づき、議会活動の状況等についての説明責任を果たすとともに、住民と議会との意思の疎通の確保を図り、住民の意見を聴き、議会運営に資することが目的として、今年から毎年1回以上開催する。</p> <p>今回は初めての回として、議会が6月定例会で制定した議会基本条例及び議会議員政治倫理条例についての説明を主に開催。</p> <p>時間は、おおむね2時間程度としている。</p>
(要望の対応)	<p>議会は、執行機関ではないため、政策の要望や予算が伴う町行政に関する要望及び提言等は、全員協議会又は議会改革調査特別委員会でこれらを執行部に要望、提言すべき内容か決定の上、伯耆町長等に文書で報告する。</p> <p>その結果の主なものについて、執行機関等からの回答等は議会報告及び意見交換会の内容とともにその概要を伯耆町議会広報、伯耆町ホームページ等により公表する</p>
(進行上の注意)	<p>進行のお願い及び注意事項</p> <p>(1) 録音及び撮影の了解</p> <p>記録の作成のため録音及び議会広報等に掲載するため写真撮影</p> <p>(2) 進行への協力</p> <p>会議の進行上、発言は、司会者の許可が必要</p> <p>基本的な答弁者は所管委員長とする。</p> <p>予算・決算、条例等の議決事件に関することは、予算決算等常任委員会勝部委員長</p> <p>総務経済常任委員会の所管事項に関することは大森委員長</p> <p>教育民生常任委員会の所管事項に関することは乾委員長</p> <p>議会運営委員会の所管事項に関することは細田委員長</p> <p>議会広報常任委員会の所管事項に関することは一橋委員長</p> <p>その他所管の常任委員会等に含まれない事項は篠原議長アンケートの協力依頼。</p>
幸本副議長	議会基本条例及び議会議員政治倫理条例の概要説明。
(質疑・意見)	
参加者	前からあった条例ですか？
渡部委員長	今期14回の議論を重ね、新たに作成しました。
参加者	少子化対策が問題だと思うが、人が少ない、相当な人口減、働き手不足など農家などについてもどうしてお考えでしょうか？

大森委員長	議会でまとめた統一はしてないが、個々の意見は持っている。課題としては話が出るが、どう対応していくかまではまとめていない。今後はありうるが現時点では特にこれだという答えはない。
参加者	人口を増やすのもなかなか無理があり、「伯耆町を考える会」などの住民でもチームを作り、活動していかなければならない。町民と議員の引き合いでやっていかななくては。地域活動も高齢者ばかりで若者が参加しない。今から取り組んでいかないとどうにもならない時代がくる。
大森委員長	全く同様の気持ち。ご意見は議会だよりなどに掲載します。結論はすぐには出ないが意見の紹介という意味では貴重だと思う。
参加者	こういった会に人が集まっていない現状というのは、住民が満足していると捉えて良いか？町長も議会もきちっとされているから？特に問題のないということか？
篠原議長	岸本地区での開催において人数の寂しさは、議会の今の活動に対する信任と捉えるのは早計かなと考える。議会、町政に無関心の懸念もある。関心を寄せるためこのような会を開いたが、また議員個々の働きかけを強め、広報を強めるとともに今後は開催の時間帯なども検討していく。
参加者	条例の制定など頑張っておられる前向きな姿勢を評価したい。
参加者	議会と行政と町民に壁はないけども、つながりは薄く感じている。相談に行くという程度。(町政に)興味が無い、チラシを出したくらいでは「語る会」にも人は来ない。継続しないと物事はうまく進まない。呼びかけが必要。
参加者	他所の議会はコマ切れで質問されるが、そういうことがなくて見やすい。 一般質問もきっちりとした質問で関心を持つかと思う。
参加者	農家の持続が心配。Uターンでの就職先があるか。販路ルートとのマッチングなどの相談場所、就職先の相談までできる身近なものがあったほうができないか？
大森委員長	Iターン相談、販路相談など産業課も助けてくれるだろうが、国や県の制度を利用して田んぼの集積や後継者問題などを取り組んでいるが追いついていないように感じる。 ご意見を参考に勉強も含めて、農業の質問などに活かしていきたい。
参加者	議員年金が問題だが、伯耆町はどうか？政務活動費の不正流用が他ではあるようだが、伯耆町ではどうなっているか？

細田委員長	議員年金制度は平成23年に廃止。議員年金会計は破綻している。既得権があって今現在もらっている方は町の費用から捻出している。我々、現職には対象者は一人もない。政務活動費は伯耆町はゼロ円。各常任委員会などの議員研修費は6万円を上限に、原則2泊3日で2箇所以上の研修先へ行っている。そのほか、滋賀県の全国アカデミーへ勉強しに行っている。
参加者	腰痛で整形に行った。10人に5人が腰痛、足が痛いという患者がいる。公民館などで健康相談所や、健康活動などをしたりなど、健康の推進がまちおこしにつながるのでは？
乾委員長	高齢者の健康は行政についても「まめまめクラブ」など開催されています。福祉相談などありますので、役場で聞かれたほうが早い。
参加者	チラシを持って手を打ったという感覚ではダメ。電話をかけて直接訴えてということを継続すべき。
参加者	語る会も継続をしていくべき。町民のみなさんがここに来るということを目標に頑張ってもらいたい。
	以上
回答を持ち帰ったもの	なし